

第17回 第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議  
議事録

---

日 時：令和5年6月7日（水）午後3時00分から3時45分まで

場 所：瀬戸市役所4階大議室

出席者：（敬称略）

<会長>吉田 淳

<副会長>右高 恭子

<委員>一尾 茂正、伊藤 陽子、長田 高代、加藤 篤、加藤 千春、加藤 中哉、  
塚本 友人、中島 なぎさ、日垣 勇士、福岡 明、和佐田 強  
（50音順）

<オブザーバー>杉江 圭司（まちづくり協働課長）、井上 紀和（文化課長）、  
中村 浩司（スポーツ課長）、山井 利明（こども未来課長）、  
稲垣 宏和（社会福祉課長）

<事務局>加藤 正彦（教育長）、磯村 玲子（教育部長）、谷口 壘（教育政策課  
長）、豊田 幸一（教育政策課主幹）、大羽 健志（学校教育課長）、此下 明雄（学  
校教育課主幹）、加藤 都志雄（学校教育課主幹）、吉村 きみ（図書館長）、松見 健  
一（教育政策課課長補佐兼企画補佐）、松浦 慎造（教育政策課専門員兼企画係長）、  
葛西 匠（教育政策課主事）

議事録：

---

1 新任委員の紹介

教育政策課長より新任委員4名が紹介され、各委員より就任のあいさつがあった。

2 会長あいさつ

吉田会長よりあいさつがあった。

3 報告事項

(1) 令和5年5月1日現在の児童生徒数について

事務局より資料2に基づき説明。

委 員： 資料2の児童生徒数のうち、瀬戸市在住ではなく他市町の児童生徒はどの  
くらいいますか。また、この表には載っていない、私立学校等に通ってい  
る瀬戸在住の児童生徒はどのくらいいますか。教えていただける範囲でお  
願いしたい。

事務局： 市外から瀬戸市立小学校に通っているのは16名、瀬戸市立中学校に通っているのは5名である。また、瀬戸市在住で瀬戸市立以外の小学校に通っているのは99名でありその内訳は公立：42名、私立：57名瀬戸市立以外の中学校260名でありその内訳は公立：47名、国立：13名、私立：200名である。

#### 4 審議事項

- (1)令和5年度瀬戸市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書（対象：令和4年度）（案）について  
事務局より資料3に基づき施策ごとの実績を一部抜粋にて説明及び意見提言依頼。

委員： 全国学力学習状況調査を受けていない児童生徒数はどのくらいいるのか。また、瀬戸市で拡大用紙や個別受験等の措置があったかどうか、いずれも教えていただける範囲でお聞きしたい。

事業評価等において、今後もすべての子どもたちを忘れていない姿勢が伝わる情報発信をお願いしたい。

P15「今後の方策等」の3行目に「教え方改革」と書いてあるが、どのようなことを考えているのか。

P41からの施策12には、「日本語教育」と「日本語指導」二つの言葉があるが、違いはなにか。

P41基本施策12の「現状の把握」の3～4行目の文章「2019年4月に入管法が改正され、これまでよりも外国人の児童生徒が増加する見込みである」との文章は4年経っていることと、現在、入管法が大きな問題になっていることから削除してもいいのではないか。市教委として、入管法の中身に関係なく瀬戸市に暮らす外国人児童生徒を大切にするための施策を推進していることが伝えたい。

P46基本施策13における「まるっとせとっ子 フェスタ」の位置づけについて「事業実績」や「事業評価」等どこかに書いていただきたい。

P53「取組指針」の下から2行目に、「性差なく」と書いてあるが、他の欄に、このことに関する記載がないので、どこかで書いていただきたい。

事務局： 全国学力学習状況調査を受験していない児童生徒数については、欠席者に関する調査を実施していないため正確な数は把握していない。しかし、当日の体調不良により受験できなかった児童生徒がおり、別の日に調査を

実施した学校があることを確認している。また、特別な配慮を必要とする児童生徒について、拡大文字問題用紙を使用したということは聞いていないが、ルビ付きの問題用紙を使って受験した生徒がいることを確認している。

「教え方改革」については、今年度から取り組む「せと授業リーダー研修」において、協働型課題解決能力の育成に向け、子どもたちの気づきを促すような授業をするためにはどのようにすべきか、という視点を持って授業を変革していくことを目指し、研修を深めていくものである。

「日本語教育」と「日本語指導」の文言については、整理を行いたい。

委員： 評価指標の目標値が令和7年度になっているが今後変更していくのか。

P23の実績値根拠が不登校児童生徒の状況調査になっているが、調査内容はどこかで見ることができるのか。見ることができないのであれば教えられる範囲でお聞きしたい。

P22の事業評価以内SCの令和3年度引き続き増員したが不登校児童生徒数が増えている。SCの増加が不登校児童数の減少につながるのか。増員根拠と効果を教えてほしい。

Q-Uと不登校の相関関係はどのくらいあるのか。

P54の評価指標となっている全国学力・学習状況調査内容が今年度の調査から外れてしまったが今後評価指標をどうしていくのか。

P55瀬戸市独自のカリキュラムで英語教育を行っているとはあるが、中学校にどのように結びついているのか。

事務局： いただいた質問は後日回答する。

会長： 全国学力・学習状況調査の内容について主旨の変更に関する通知があったのか。

事務局： 現時点で分からないため、後日回答する。

事務局より次回の開催は7月24日（月）15時からである旨連絡があった。